◎フージャース、岩槻３４３戸の売行好調
―供給空白地帯、大規模・商業併設で反響

フージャースコーポレーションが岩槻市で分譲している大規模マンション「フェスタタウン　アクアコート」（総戸数３４３戸）の売行きが好調だ。これまでに発売した７割強はほぼ完売しており、このほど最終期（第３期、87戸）の販売に着手した。併設する商業施設を１日にオープン、これにより販売を加速し、年内の竣工・引渡し時までに全戸完売を目指す。

最寄り駅は、東武野田線・岩槻駅。郊外マンションでありながら、エリア内の供給がほとんどなかった稀少性に加え、ＮＴＴ社宅４万㎡規模を買い上げた総戸数３００戸超の面的開発と、地元埼玉県を本拠とする有力スーパー、ヤオコーなどを誘致した商業施設が併設していることが反響を得た。平均坪単価は１３０万円台。昨年11月からの総来場件数は約１６００組。同プロジェクトの進展などに伴い、岩槻駅整備計画の実施気運が高まっており、計画が実現した場合、駅からの徒歩時間が８分から３分に短縮することも売れ行きを後押ししているとみられる。

１日には、併設の商業施設「フェスタスクエア」がオープン。テナントは、ヤオコーのほか、ダイソーや文教堂、スタジオアリスなど、全９区画で構成している。オープンを機に、マンションの販売最終期に入り、販売を加速する。「これまで供給がなかった大型タイプの住戸から売れた。大型タイプが売れないと先行き厳しいが、今回はそうではない」（営業第二部）と、早期完売に好感触を示している。

商業施設については、投資家への売却を内定。残りの敷地では、マンション第２期棟の開発も視野に入れている。